

「性的指向(Sexual Orientation)」と「性自認(Gender Identity)」の  
多様性に関する学生への配慮・対応ガイドライン

1. ガイドライン

大阪大学学生生活委員会は、2017年7月19日に発表された、大阪大学の「性的指向(Sexual Orientation)」と「性自認(Gender Identity)」(以下「SOGI」という)の多様性に関する基本方針に基づき、学生への配慮・対応のガイドラインとして以下の事項を定め、学内の各組織に取り組みを要請します。

(1) 学生ひとりひとりの意思と選択を常に尊重する。

- ✓ SOGIのあり方、LGBTとされるひとたちは、ひとりひとり異なります。「トランスジェンダーならば」「ゲイならば」などと決めつけることなく、本人がなにを望んでいるのか、なにを困難に感じているのかについて丁寧に耳を傾けながら、本人の自己決定を尊重してください。
- ✓ たとえば、在学中に学生が性別移行を行う場合でも、一度にすべてを変えることを希望するひといれば、段階的な変化を望むひと、途中で希望を変えるひともあります。性別移行には数々の困難が伴うのが常です。ねばりづよく、話を聴いてください。

(2) 個人情報の保護を徹底する。

- ✓ SOGIに関する本人の情報について聴く場合は、その情報保護が厳密になされることを約束し、教職員間で共有することが必要になる場合も、どの範囲まで共有してよいのかについて逐一確認を行ってください。
- ✓ 本人の意思にかかわらずSOGIに関する情報を他者に知らせることを「アウトティング」といい、深刻な人権侵害となります。
- ✓ SOGIに関することは自分の家族には言わないでほしい、という当事者が相当数存在します。家族に相談が必要と考えられる場合も、かならず本人の意思を尊重してください。

(3) 本人を中心とし、必要に応じて教職員からなるチームをつくり、そこで十分に話し合い、問題の解決やニーズへの対応を考える。

- ✓ 相談窓口と担当者を設け、SOGIに関する十分な知識をもって、本人の希望を聴

きながら解決や対応、実現に向けて話し合ってください。個人情報の取り扱いに配慮しながら、過去の事例が関係者の間で参照できるように、対応事例集などを用意することが有益です。

- ✓ 職員や専門家だけでなく、同じような境遇に立ち、悩みを共有できる当事者ピアによる相談が有効である場合もあります。学内外のピアサポート活動を紹介してください。

**(4) 学内の各セクションが連携・協力し、必要に応じて学外の関係者のサポートも受けて、対応に向けて取り組む。**

- ✓ 部局・部署ごとに対応が異なることがないように、個人情報の保護を遵守しながら各担当者間で情報を共有し、連携と協力が可能な体制をつくってください。
- ✓ 外国人留学生のなかにもSOGIに関してサポートの必要なひとたちがいます。
- ✓ SOGIの多様性について詳しい教職員のネットワークづくりを行い、定期的に教職員向け研修（FD・SD）を開くなどの理解や交流を図ってください。
- ✓ 学内外団体と連携し、安心してピアサポート活動ができる環境を整えてください。

**(5) 教育・研究・その他の学生生活など、当人の学内における生活全般に関し、合理的配慮を図る。**

- ✓ 希望に応じて氏名変更のための案内や手続きを行うほか、教育研究その他における必要のない男女分けや性別確認をなくす、トイレや更衣室などの使用に関わる困難について本人の希望が実現されるよう工夫や対応を重ねるなど、「特別扱い」ではなく）だれもがバリアなく教育研究に参加できるインクルーシブな制度・環境整備に努めてください。

**(6) SOGIの多様性に関する理解促進に係る啓発を行なう。**

- ✓ SOGIに関する決めつけ、うわさ、偏見を含む発言はすべてハラスメントにあたります。ハラスメントに関わる教職員向け研修（FD・SD）、SOGIに関するセミナーなどを開催し、SOGIの多様性の認識と理解のための取り組みを、組織間で連携して行ってください。
- ✓ SOGIの多様性や性の健康に関わる学生の自主的活動と積極的に連携を図って、学内での理解向上やサポートに取り組んでください。
- ✓ SOGIの多様性について知ることのできる授業科目などを整備し、学生・教職員を問わず聴講できる仕組みを構築してください。
- ✓ 大学間の連携が必須です。定期的に大学スタッフ間の交流の機会を設け、それぞれの取り組みの共有を図るほか、大学間で協力して社会への啓発活動を行って

ださい。とくに就職活動のなかでSOGIに関わる差別的待遇に悩む学生が少なくありません。大学によるこれらの問題についての取り組みも期待されています。

## 2. 対象及び範囲

SOGIは学生・教職員など本学のすべての構成員に関わる問題ですが、このガイドラインは学生への配慮・対応を対象とするものです。また、その範囲は、入試時の配慮に関する事項、入学から卒業までの学生生活全般に関する事項、進学・インターンシップ・就職などに関する事項に及びます。

## 3. 相談体制

本学における相談については、相談の内容に応じて、各部局の窓口やキャンパスライフ健康支援センターを中心に、守秘義務をもって対応してください。また、必要がある場合には、本人に連携の範囲や内容を事前に確認したうえで、部局の窓口からキャンパスライフ健康支援センターへ相談するなど、関連部署間で連携して対応してください。また、相談体制の周知を継続的に行ってください。

## 4. 社会的責務

本学の取り組みに関する情報を学内外に向けて公開・発信し、SOGIの多様性の理解に関する教育研究組織としての社会的役割を果たすことが必要です。

## 5. 組織体制

本ガイドラインに定める事項を推進するため、学生生活委員会において具体的な方策・課題の検討及び議論を行い、必要に応じて学内外の関係者と連携して全学的な取り組みを行います。

## 【参考情報】

1. 大阪大学「性的指向(Sexual Orientation)」と「性自認(Gender Identity)」の多様性に関する基本方針（2017年7月19日発表）  
<http://www.danjo.osaka-u.ac.jp/sogi/>
2. 参考となる他の大学の基本理念やガイドライン（順不同）
  - ・筑波大学 LGBT等に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン  
[https://www.tsukuba.ac.jp/students/pdf/201703271334\\_LGBT.pdf](https://www.tsukuba.ac.jp/students/pdf/201703271334_LGBT.pdf)
  - ・名古屋大学 LGBT等に関する名古屋大学の基本理念と対応ガイドライン  
[http://www.nagoya-u.ac.jp/about-nu/upload\\_images/20180822\\_lgbt.pdf](http://www.nagoya-u.ac.jp/about-nu/upload_images/20180822_lgbt.pdf)
  - ・名古屋大学 LGBT等に関する名古屋大学の基本理念と対応ガイドライン（英語版）  
[http://www.nagoya-u.ac.jp/about-nu/upload\\_images/20180926\\_lgbt\\_en.pdf](http://www.nagoya-u.ac.jp/about-nu/upload_images/20180926_lgbt_en.pdf)
  - ・早稲田大学 セクシュアルマイノリティ学生への配慮・対応ガイド  
[https://www.waseda.jp/inst/diversity/assets/uploads/2018/04/JPN\\_Guide-to-Consideration-and-Treatment-of-Sexual-Minority-Students.pdf](https://www.waseda.jp/inst/diversity/assets/uploads/2018/04/JPN_Guide-to-Consideration-and-Treatment-of-Sexual-Minority-Students.pdf)
  - ・早稲田大学 セクシュアルマイノリティ学生への配慮・対応ガイド（英語版）  
[https://www.waseda.jp/inst/diversity/assets/uploads/2018/04/ENG\\_Guide-to-Consideration-and-Treatment-of-Sexual-Minority-Students.pdf](https://www.waseda.jp/inst/diversity/assets/uploads/2018/04/ENG_Guide-to-Consideration-and-Treatment-of-Sexual-Minority-Students.pdf)
  - ・早稲田大学 セクシュアルマイノリティ学生のためのサポートガイド  
<https://www.waseda.jp/inst/gscenter/assets/uploads/2018/03/71f180df6d94d688de7a787272bfaee3.pdf>
  - ・大阪府立大学 大阪府立大学 SOGI（Sexual Orientation and Gender Identity）の多様性と学生生活に関わるガイドライン  
[http://www.osakafu-u.ac.jp/osakafu-content/uploads/sites/428/guideline\\_sogi.pdf](http://www.osakafu-u.ac.jp/osakafu-content/uploads/sites/428/guideline_sogi.pdf)
  - ・国際基督教大学 ジェンダー・セクシュアリティとキャンパスライフ Vol.01 できることガイド in ICU（学生用）  
[http://web.icu.ac.jp/cgs/docs/GSCL01\\_PossibilitiesGuide\\_v1.pdf](http://web.icu.ac.jp/cgs/docs/GSCL01_PossibilitiesGuide_v1.pdf)
  - ・国際基督教大学 ジェンダー・セクシュアリティとキャンパスライフ Vol.02 やれることリスト 108 at University  
[http://subsite.icu.ac.jp/cgs/docs/GSCL02\\_108ThingsUniversity\\_v1.pdf](http://subsite.icu.ac.jp/cgs/docs/GSCL02_108ThingsUniversity_v1.pdf)
3. キャンパス内では本学学生が次のような取り組みを行っています。
  - ・ Libra：2007年から活動している大阪大学のLGBTsサークル。参加者は約70名で、教職員の参加も可能。LGBTなど、SOGIが典型ではない当事者による団体であり、性についての悩み相談も受け付けている。プライバシーを尊重し、安心して活動できるようにプライバシーポリシーについて策定しているほか、必要に応じて教員の助言を受けて活動している。
  - ・ GSOU：大阪大学ジェンダーとセクシュアリティの多様性を考える会。2018年に設立され、参加者は約20名。SOGIの典型、非典型を問わず、SOGIの理解ならびに支援をする立場にある学生の団体。学内ではCOデザインセンターでのダイバーシティ関連行事などに協力し、教員や他の学生との意見交換なども行っている。